

■国際情報コース■

明るく、元気に、楽しく

我がコースは男女二十一名ずつの四十二名からなり、四月の初懇親会は太田指導員を交えクラス全員参加で和気あいあい、歌や踊りに盛り上がりしました。六月のスポーツ大会では応援団を結成、出場選手に熱い声援を送り、皆でダンス、踊りに興じました。国際情報コースは名の通り、外国人、元青年海外協力隊員、国際経験豊かな大学教授を講師に、世界の歴史、政治経済、文化芸術を改めて新鮮な気持ちで学んでいます。十月の大学祭ではこれまで学んだ世界のことを発表すべく、現在作品を制作中です。後期も《明るく、元気に、楽しく》を motto に、卒業時「このコースで本当に良かった」と云える事を目標にしていきたいと思ひます。

(文：上原東樹)



(見学先の JICA 九州にて)

■社交ダンス入門コース■

いつやるの? 今でしょ!

高齢者には、三つのタイプがあるそうです。「まだ若い人」「昔は若かった人」そして「一度も若かった事のない人」。私たちのコースは若々しく、生き生きとした「まだ若い人」ばかりです。八十三歳の方をはじめとして、新しいことに挑戦しているからでしょう。それぞれダンスの経験はさまざまですが、互いにアドバイスしあいながら楽しく練習しています。先生の「柔道にならないように」とのご指導をいただきながら大学祭の演技発表に向け特訓中です。また、マナーを大切に、相手を思いやる心も同時に学んでいます。

あなたも社交ダンスに挑戦してみませんか。それで「いつやるの?」「今でしょ!」(文：山縣正宣)



(施設ボランティア訪問先にてダンスを披露)

■写真入門コース■

われらカメラ人^{びと}

写真は時として芸術であり、時としてその時代の証言者でもある。一枚の写真により人は心を癒され、またその時代の社会世相を知ることが出来る。写真はそんな崇高な要素を持っている。競争率の高いこのコースだけに三十名の研修生は向学心に燃えた者ばかりで、毎回理論の習得・技術の研鑽に余念が無い。仰木先生の講義は経験に裏打ちされたもので、時に厳しく時に面白く飽きることはない。最近では屋外での撮影実習もあり、撮影の楽しさと難しさを実感している。

我々の勉強の成果は教室横の掲示板や十月の大学祭、来年二月の修了記念作品展等で展示いたしますので、ご高覧いただき、ご批評を頂戴できれば幸甚です。

ボケ写真慣れぬカメラのせいにする (文：仲道弘起)



(写真の編集集中)

■地域ふれあいコース■

地域ふれあいコースに学んで!!

周望学舎三年目で初めて座学の多いコースに入った。我々老中あるいは老後を過ごす者にとっては、一度は受講して良いコースではないかと思う。特に男は会社生活を卒業するとしばらくは旅行、趣味など現役時代にやりたくてもやれなかったことをやることで日常生活はほぼ満足しているが、一、二年もすると地域社会とのかわりの大切さを知ることとなる。しかしながら仕事中心で生きてきた者にとって地域参画はかなりの勇氣とエネルギーが必要と感じる。そこで本コースでは社協活動、市民センターの取り組み、ボランティアの心を学ぶ、コミュニケーションの取り方等、地域活動に生かせる講義内容が多く参考になる。

これからの人生を、コースで学んだ事を地域活動に活かし、何かのお役に立てればと思う。(文：上田章雄)



(ある日の授業風景)

健康づくりサポーターコース

体力にあわせて

健康・体力づくりに必要な基礎としてストレッチング等の講義の後、体育館で歩き方や脈拍測定の実技指導を受けた。特に今話題となっている熱中症予防についても学んだ。学舎外の研修では平尾台への軽登山、頓田貯水池周辺ウォーキングがあり、各自の体力に合わせた歩きで自然を楽しむと同時に皆と話し合うことで仲間づくりも出来た。また、ニュースポーツでは身体だけでなく頭脳をも使う新しい競技を多数体験しながら、研修生たちで準備体操から審判・順位付けまで行うなど、地域でのサポートが出来るように学んでいる。

健康づくりサポーターコースは各種行事に積極的で、円滑に進めることのできる素晴らしいコースである。なお周望学舎が初めての人は一人である。(文：三澤忠)



(ウォーキングの基礎を勉強中)

ふるさとの文化コース

ふるさとの文化を学んで

私は若いころから随分と市内をウロウロしていて、用事の時や通りすがりの中でどこに何があり、どこでどの様な催しや謂れがあるかなど、断片的にはありますが多少知っているつもりでした。

ところが今年四月から「ふるさとの文化」コースで講師の専門的なお話を聞くにつけ、私のウロウロは文字通り単なるウロウロであったことを痛感しています。

研修の中でさまざまな北九州の文化を学んで行くにつれ北九州のすばらしさを再認識しているところです。

またクラスの中にこれまで培ってこられたエキスパートが多くおられ、これまた、日々新たな知識吸収が出来て感謝しています。(文：赤瀬淳)



(見学先の北九州市立文学館前にて)

花と野菜づくりコース

花壇造りの喜び

花と野菜づくりコースへ入学でき六ヶ月を迎えました。以前から花壇造りの夢を描き続けて永年の仕事に追われていましたが、仕事に終止符を打ち希望の周望学舎に入学。先生方々の指導のもと花壇の夢が少しずつ叶えられ、鉢や畑に種を蒔き苗を植え付け、今では四十種類ほどの花や野菜が狭いながらも花壇を賑わし、きゅうり・なす・トマト・ピーマンと食卓を彩っています。本当に感謝、感激です。太陽・土水の力・肥料の種類と、気配り・脇芽摘み、それぞれ植物への愛情が実をつけるつなかりに不思議と喜びを同時に味わえるという幸せに、朝夕の水やりを忘れることなど出来ません。自然と触れ合い、人生の残りを花々の移り変わり四季折々の野菜を育てる喜びとともに過ごすことができ、また良き友人たちにも恵まれ、感謝しています。(文：木下峯子)



(ブロッコリの植え付け風景)

歴史に学ぶコース

今日の研修

起立！輪番班長の一声は教室の空気を一変させる。青春に戻るのには私だけではなさそう。年長者研修大学の「年長」の所が身を竦(すく)める一瞬でもある。人生の達人も素直に講義のノートを取るその傍で、安心した幼児(おさなご)よろしく至福の時を過ごす人もいる。講師は熱心に先へ進む。今日は消防署員と救命隊の方とで手振りとともに救急救命法の講義、心肺蘇生法の実演中に救命隊の一人の携帯が鳴る。緊急出動の要請に授業を離れサイレンを鳴らして周望の坂を下りて行った。緊急出動は朝から三度目とのこと。北九州市では年間五万件の出動依頼があり現地到着までの平均所要は八分と署員の方より聞く。どうぞ間に合いますように、と教室は真剣な空気変わっていた。

(文：鈴木蘭子)



(スポーツ大会の練習風景)

■健康ダイエットコース■

待ち遠しい水曜日

昨年十一月札幌から北九州市へと転居し周望学舎を知り、早速入学手続きをしました。何もわからない土地での不安と期待の中でこのコースに入りましたところ、皆さんが温かく迎えてくれました。他の新人の方も同じ思いをしたことでしょう。特にわたしにとっては感動もひとしおでした。

総勢三十六名、新人と経験者が若い尾野指導員のもと軽登山、ウォーキング、各種体操等を基本にダイエットに挑戦し体力づくりに励んでいるところです。更に何事においてもお互いアドバイスやアイデアの意見交換をしながら向上しております。

今後は各自が目標に向かい来年三月の卒業まで心身とも充実した健康維持とダイエットで修了できるよう邁進したいと思います。(文：佐々木憲雄)



(軽登山 平尾台にて)

■心と身体 の健康コース■

ますますおしゃれに

本コースのテーマは、自らの心と身体 の健康について理解を深めるということです。心 の健康では、「ヘア・メイクアップ」や「エコファッション」等の講義を、身体 の健康では「体力づくり」や「口腔ケア」等の講義を学習しました。それらの講義の中で最も印象に残ったのは、おしゃれの効用ということでした。おしゃれをするということが、人を明るく元気にし、認知症やうつ病の予防にも効果があり、心と身体 の健康に大いに有効であるそうです。そこで本コースでは「年長者こそおしゃれをしなきゃ」と、ますますおしゃれに気配りをし、より格好良い年長者を目標に、心と身体 のより一層の健康を目指して行きたいと思っています。

(文：坂口哲雄)



(口腔ケアの授業風景)

■生活情報コース■

コース紹介

最初にコースのメンバー紹介、男性十六名に女性十九名の総勢三十五名からなり、皆さんの共通点は健康づくり・体力づくりを基に向学心・遊び心等に旺盛かつ情熱的であり、日々の授業もお互いに助け合いながら和気藹々と学舎生活を楽しんでいます。今まで学習した中で一番印象的だったのは、小倉地方裁判所での模擬裁判です。法廷ドラマの再現のような白熱した演技(裁判)が行われ、検察側の求刑七年に対し無罪の判決となりました。ここで裁判長役の研修生より一言、判決言い渡し後にアドリブで被告人へ今後の生き方のアドバイスがあり、これが大いに受けました。その後、「裁判長殿」とニックネームがついたようです？

これからもなお一層の視野を広げるとともに、少しでも社会に還元することが出来ればと思っています。

(文：江副伸久)



(模擬裁判の様子)

■暮らしと環境コース■

地球&エコ&私達

私達が日頃何気なく暮らしている快適な生活環境も、その実、大気汚染による地球温暖化の対応、原子力からクリーンエネルギーへの転換、TPPが絡む食の確保などさまざまな生活を脅かす問題が潜んでいます。

そこでこのコースでは、暮らしに関わるこうした環境問題を学び、大きな問題解決はさておき私達一人ひとりが地球にやさしいエコ生活に努め、エコバッグや段ボールコンポストなどを実際に作り、これを生活の中に活用して身近な環境改善に取り組んでいくことを目指しています。こうした小さな輪が、やがて大きな輪となって広がることを願いつつ・・・。(文：大田黒正四郎)



(段ボールコンポスト制作風景)

■書道入門コース■

書道入門コースの紹介

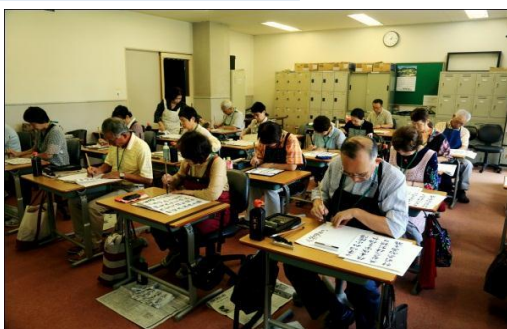
四月に入学、宿泊研修、スポーツ大会が終了してはや六ヶ月が経ちました。コースは男性七名・女性十四名の構成で、勿論主導権は女性部にありますが、和やかな雰囲気の中で学んでいます。

教室では先生が皆の目の前でお手本を書いてくれて、美しい線と筆の動きに感動。ため息の中で見るのが生徒にとってはなによりの勉強です。習うきっかけは人それぞれですが、黒と白の二色だけで控えめで静謐なイメージを強く打ち出す墨に魅力を感じています。

継続は力なり！秋に向けての大学祭、修学旅行を楽しみにし、良き仲間と学んで行きたいと思えます。

継続の力なり

(書・文：川野三雄)



(書に夢中！)

■アジアを学ぶコース■

「目から鱗が落ちる」アジア

「アジアを学ぶコース」の「アジア」という語は、もともとは古代アッシリア語（現在のイラク北部地域）の“Asu（日の出づるところ）”に由来し、ヨーロッパ大陸から見て地中海の東部にあたる地域を意味します。では、現在アジアにはいくつの国があるでしょうか。国際連合の区分によると、アジアは東アジア・東南アジア・南アジア・中央アジア・西アジア・北アジアのそれぞれの地域に分類され合計四十六カ国が存在しています。

一方「学ぶ」とは、文化・歴史・政治・宗教等を「勉強・習得」する事です。今、我々のコースメンバー四十二名は、アジア各国で活動中または以前活躍していた大学教授や国際協力機構 JICA 職員、企業駐在員、ジャーナリスト等を講師として、各国での貴重な経験と知識を具体的にスライドや動画を交え明るく楽しく学んでいます。

(文：進克彦)



(民族衣装を身につけた JICA 九州のみなさま)

■健康管理コース■

健康管理メニューが満載

体育館にて、上向きに寝そべて深呼吸を繰り返す。心地よい感覚が全身を駆けめぐり、ふっと眠りに誘われそう。これは、ある日の実習の終了間際の情景です。私たちは気功、太極拳、ヨガ、姿勢と動作の改善体操、エアロビクスなど、健康づくりを楽しく学んでいます。いろいろ体験してみて、自分に合った健康法が見つければハッピーと、みんな一生懸命です。講義も東洋医学、歯の健康、がん体験談、健康料理、寝たきり予防等々、多彩で充実しています。

私たちのコースは健康に関心の高い人ばかりですので、みんな登校日を待ち遠しく思っています。これからの講義や実習がどう進展してゆくか、全員がワクワクしております。(文：青木英樹)



(授業で体力測定中！)

■陶芸コース■

待ち遠しい窯出し

陶芸コースは定員二十四名に対し少数精鋭(?)の二十名で、焼き物の基礎技術を学んでいます。時には時間内では間に合わず、昼休みも作業をし、それでも出来ない時は先生にお願いします。先生の手にかかると作品は別物に変身し、それを羨望の目で見ています。最近では粘土を捏ねる時、猛暑のせいか手の指がつつたりします。

これまでの研修で茶碗、花器、筆立て、宝石箱、香炉を成形して、現在自然乾燥中です。今後、窯詰め、素焼き、施釉、本焼きを経て九月末に窯出しし、作品と初めて対面します。安産か難産(壊れていない)か少し不安もありますが、非常に楽しみです。これらは十月の大学祭に出展予定です。乞うご期待！(文：江口博)



(土と格闘中)

